

平成27年度 首都直下地震防災訓練(実動訓練) ～道路啓開、大規模排水、航路啓開、物資輸送等の実動訓練～

関東地方整備局では関東防災連絡会※等の各機関と連携し、11月5日に首都直下地震を想定した実動訓練を実施しました。



関東地方整備局 災害対策本部室

1. 訓練目的

救命救急活動や緊急支援物資の輸送など、円滑な緊急活動を支援するため、道路啓開や大規模浸水地域の排水などについて、実動訓練を通じてオペレーションの機能性、有効性を確認し、具体的で実効性のある計画へスパイラルアップを図る。

また、訓練を通じ関係機関との連携を深めるとともに、職員の災害対応能力の向上を図る。

2. 訓練概要

①日時:平成27年11月5日(木)9:00～15:15

②場所:

- (1)荒川:江戸川区小松川地先
(荒川ロックゲート・小松川リバーステーション)
- (2)船橋防災センター
- (3)東扇島地区基幹的広域防災拠点

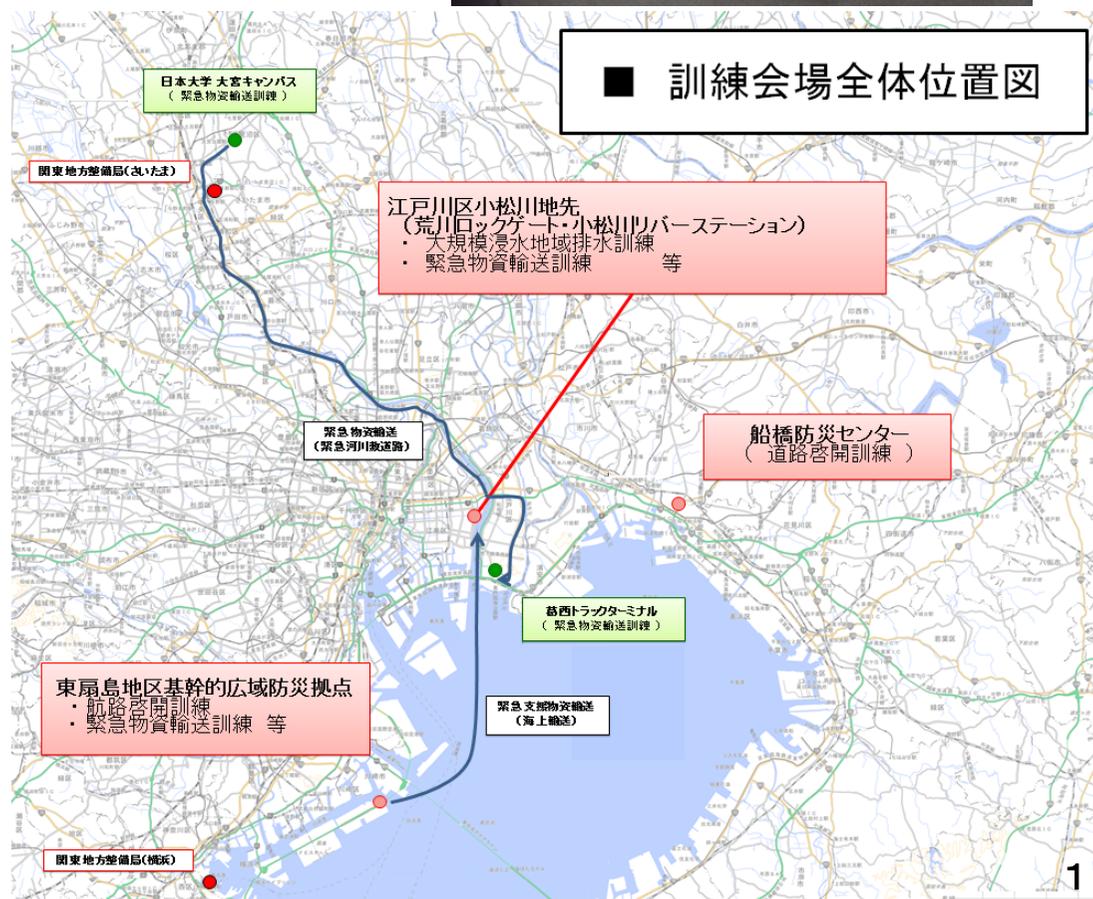
③主催:国土交通省 関東地方整備局

共催:関東防災連絡会

④参加機関:国・地方公共団体・公共機関等

計24機関14団体 約610名参加

※「関東防災連絡会」は、広域かつ大規模災害において防災に係わる各省庁、地方自治体、公共機関(団体)54機関にて情報共有や連携を行い、国民の生命・身体及び財産の保護に資することを目的とする連絡会



3. 訓練内容

河川関係

- ・津波対策訓練
- ・水路啓開訓練
- ・大規模土砂災害緊急調査訓練
- ・大規模浸水地域排水訓練
- ・緊急物資輸送訓練
- ・燃料供給訓練
- ・水のう設置訓練

道路関係

- ・道路啓開訓練

港湾空港関係

- ・活動要員及び作業員参集訓練
- ・人命救助訓練
- ・航路啓開訓練
- ・緊急輸送路啓開訓練
- ・ライフライン応急復旧訓練
- ・ヘリコプター臨時駐機スポット設置
- ・エアテント設営訓練
- ・防災拠点等応急復旧訓練
- ・緊急物資海上・航空輸送訓練
- ・緊急物資一時保管訓練
- ・津波避難訓練
- ・災害用マンホールトイレ組み立て訓練
- ・仮設燃料給油所設営訓練
- ・内閣府東扇島防災拠点における情報伝達訓練
- ・防災関係車両等展示

重点的な訓練

- 大規模浸水地域排水訓練
- 道路啓開訓練
- 航路啓開訓練
- 緊急物資輸送訓練



道路啓開訓練



航路啓開訓練



緊急物資輸送訓練



大規模浸水地域排水訓練

(1) 道路啓開訓練

- ・放置車両移動訓練
- ・橋梁段差処理訓練
- ・倒壊電柱除去訓練
- ・瓦礫除去訓練

「首都直下地震道路啓開計画(初版)」
(平成27年2月策定)に基づき実施



橋梁段差処理により
緊急車両の通行確保



車両移動用ジャッキを用いて
路肩側へ移動

(2) 航路啓開訓練

- ・緊急確保航路啓開訓練

「東京湾航行支援に係る震後行動計画
(平成27年4月策定)」に基づき実施



障害物の発生した水域の航路啓開

(3) 大規模浸水地域排水訓練

・大規模浸水地域排水訓練

「ゼロメートル地帯等における浸水への
対応手順(第1版)(平成27年3月策定)」
に基づき実施。



荒川の堤防に排水ポンプ車を
配置し、堤防を横架させて排水



排水作業を連続して行うため
燃料供給車両の通行確保

(4) 緊急物資輸送訓練

・河川、道路、港湾を活用し、

①内陸地域から都心へ

②沿岸地域から都心へ

緊急用河川敷道路を活用し、緊急物資を輸送。



緊急用河川敷道路(荒川)を
走行する陸上自衛隊車両



港湾から海上輸送を行い
荒川リバーステーションにて、
トラックへ積み替え